

2024年にIEEE Standards Association次期会長へ  
IEEE Standards Association会長（2025～2026年）



ロビー・ロブソン (ROBBY ROBSON)  
(IEEE Standards Associationより指名)

Eduworks Corporation 共同創業者、最高科学責任者、理事会長  
アメリカ合衆国オレゴン州コーバリス

[www.robbyrobson.com/IEEESA](http://www.robbyrobson.com/IEEESA)

ロビーは、革新性と効果的なリーダーシップで知られる起業家であり、標準化の専門家です。スタンフォード大学で博士号を取得した後、15年間にわたって研究数学者として従事しました。1996年に黎明期のオンライン学習システムを共同開発した後、学習テクノロジーの分野に注力しました。2001年にはEduworksを共同創業し、同社CEOに就任し、2022年に同CEOを退任しました。2000年にIEEE Computer Society Learning Technology Standards Committee委員長に選出され、数多くのStandards Association、Computer Society、IEEE主要組織の委員会および理事会で務めてきました。現在はIEEE Standards Associationのオープンソースの取り組みを主導し、IEEE SA Strategic and Emerging Standards CommitteeのInclusive Language Working Groupの会長を務め、IEEE Educational Activities BoardおよびIndustry Engagement Committeeの委員を務めています。複数の特許を取得し、100巻を超える出版物を刊行し、米国、ドイツ、フランスの在住歴があり、いつでもユーモアを大切にしています。

### 声明

IEEE Standards Association (IEEE SA) は、質の高い世界的標準を作成していることで定評があります。しかし、そのガバナンスは歳月とともにリスクを回避する体制になり、標準の開発者をサポートするよりも、規則の施行を優先することが往々にしてあります。成長し、委員の価値を実現し、ミッション目標を達成するため、IEEE SAは以下に全力で取り組まなければなりません。

- IEEE SAの成功の礎を築く作業部会の参加者、学会、業界に貢献する
- イノベーションと意思決定に委員を深く関与させる

私が当選しましたら、以上が私の最優先事項になります。私を支持してくださる多くのIEEEリーダー、そして技術的および文化的に多様な世界のリーダーシップチームと協力して、以下のことに取り組んでまいります。

- ツールを最新化し、業務を合理化する
- 標準ユーザーに付加価値を与える新たなサービス（オープンソースプラットフォームなど）を提供する
- 若手のための入口を作る
- 国を越えた参加を拡大し促進する
- 規制よりもメンタリングと教育を重視する
- 標準開発者をIEEE SAの最も貴重な資産として扱う

2024年にIEEE Standards Association次期会長へ  
IEEE Standards Association会長（2025～2026年）

私たちは、力を合わせて、IEEE SAを活気あるサービス指向の組織へと改革できます。独自の委員価値を提供し、新興テクノロジーのリーダーとなり、委員と職員から熱心にサポートされる組織になることができます。私は皆様の会長としてフルタイムで務めることを公約します。投票をよろしくお願いたします。

IEEEの功績と活動  
(A'99-M'00-SM'05)

- **IEEE Computer Society Learning Technology Standards Committee委員長（2000～2008年）**  
。アクティブメンバー約30名、PAR 15件、研究グループ4つからなり、完成した標準のない委員会を引き継ぐ。核心事業に注力した結果、5つの標準を発表。内部の利害対立、競合する標準化団体との関係、ISO/IEC JTC1 SC36との連携を管理することに成功。
- **Computer Society Standards Activity Board (SAB)（2003～2021年）**。副委員長、政策・手続（P&P）委員長、業界エンゲージメント委員長、C/SAB標準化委員会委員長を歴任。SABのP&Pを改訂し、新たな作業部会（WG）を指導し、P&Pにおいて標準化委員会とWGを支援。2019年にC/SAB Standards Committeeを活性化し、2021年まで委員長を務める。AI、データ圧縮、分散型台帳、オンラインゲームに関する新たなIEEE標準化委員会の立ち上げを支援し、新たなWG会長の研修を導入。
- **Standards Association Standards Board (SASB) 委員（2010、2011、2017～2018、2021～2023年）**。  
SASB、NesCom、RevCom、PatCom、ProCom、ICComで勤務。
- **IEEE-SA Board of Governors (BOG) 委員（2019～2021、2023年）**。2019年に委員に選出。2019年にPlatform and Infrastructure Strategic Management and Delivery Committee（SMDC）委員長を務め、2020年、2021年、2023年にMarket Acceleration and Business Incubation SMDC委員長を務める。職員と協力して、作業部会や標準化委員会にWebExへのアクセスを提供。オープンソースで業界向け製品の開発を行うグループを指揮。初の収益を生み出すオープンソース事業を採用し、IEEE「Serious Open Source for the Benefit of Humanity」（SOSH）イベントを立ち上げ。現在もこの取り組みを指揮。
- **IEEE SA Open Source Committee (OSCom) 委員長（2021～2023年）**。初めてにして唯一のOSCom委員長。『OSCom Operations Manual』を制作および改訂し、オープンソースのコミュニティメンバーをIEEEのガバナンスに統合。IEEE-SAを、オープンソースの実装における主要な標準開発組織のリーダーとして位置付け。執筆時点で、IEEE SA Openには12の学会より25件の標準化事業があり、成長を続けています。
- **Standards Education Committee (SEC) 委員長（2019～2021年）**。SECは、Education Activities Board（EAB）とStandards Associationの合同委員会でした。消極的な委員会を、複数の取り組みで積極的なものに改革。「Working Group Fundamentals」コースの作成を主導。2021年にSECを廃止し、より多くのサポートを受け、注目される委員会へと活動移すための取り組みを主導。
- **Industry Connections Committee (ICCom)（2017～2023年）**。2017年にICCom（SASBの下）で開始。2021年より副委員長を務める。

2024年にIEEE Standards Association次期会長へ  
IEEE Standards Association会長（2025～2026年）

- **Entity Collaborative Activities Governance Board（CAG）（2019、2020、2022～2023年）。** 2019年にCAGにてBOGを代表。2022年にCAG委員長によって委員に任命。オープンソース、そのP&P、委員の価値についてCAGと連携。
- **Industry Engagement Committee（IEC）委員（2023年）、IEC Tools Subcommittee委員長（2022～2023年）。** 既存の顧客関係管理ツールの事業を管理。2023年にAIを活用した新たなサービスを提供予定。
- **P3400 WG on Inclusive Language in Technical Documentation委員長。** BOG Strategic and Emerging Standards Committeeの下で運営される、この重要であり時折議論を生むWGの会長として招待。2022年に開始され、2023年にSA投票予定。